

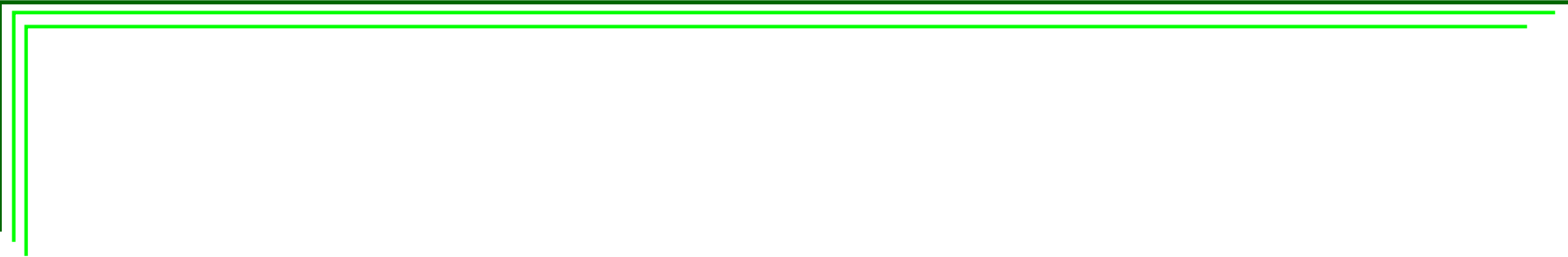


2007年3月期決算説明会



Life science & Transfer Technology

2007年5月29日



I . 2007年3月期決算実績ならびに当期計画

決算説明会のポイント

個別経営成績

07/3期は617百万円の当期損失。

- ◆ 創薬関係はリポPGE1関連ロイヤリティが07/1月終了。そのため、194百万円と前期比77百万円減少。しかし中国合弁会社からの配当金(240百万円)が増加。
- ◆ 08/3期(計画)はナノステロイド酸の収益が見込めるものの特発性間質性肺炎などの研究開発が活発化し同費負担により赤字が続く。

連結経営成績

07/3期は583百万円の当期損失。

- ① 調剤薬局子会社(株)ソーレは順調な経営をしており、その売上が1,074百万円と通期で寄与。
- ② 北京泰徳製薬有限公司の持分法による投資収益は232百万円で25百万円減少した。

研究開発

- PC-SOD : 特発性間質性肺炎を対象とする第Ⅱ相臨床試験を平成19年6月から開始。
第Ⅲ相臨床試験を途中から平行して行う予定で、2年程度での新薬許可申請を行いたい。
- PC-SOD : 潰瘍性大腸炎を対象とする前期第Ⅱ相臨床試験で有効性を確認。
導出先を見つけマイルストーンの取得を予定。
- ナノステロイド: インドの製薬会社CIPLA社に技術移転し、治験薬の製造を委託。
- PGE1製剤 : 東南アジア、南米、インドでの販売を模索。
- AS-013 : 追加試験(後期第Ⅱ相臨床試験、PⅡb)を実施すべく、FDAとも討議中。
- 当社の特徴 : 開発リスクの少ないDDS製剤の研究・開発が中心。一般的に開発期間も短く、開発の成功確率が高い。

1-(1) 07年3月期 決算実績

(百万円、%)

個別					
	06/3期 実績	07/3期 修正計画	07/3期実績		
	金額	金額	金額	前期対比 (増減額)	計画対比 (増減額)
売上高	271	535	194	▲ 77	▲ 341
営業利益	▲ 620	▲ 619	▲ 949	▲ 329	▲ 330
経常利益	▲ 308	▲ 259	▲ 572	▲ 264	▲ 313
当期純利益	▲ 300	▲ 259	▲ 617	▲ 317	▲ 358
研究開発費	565	816	790	225	▲ 26

個別コメント

- 07年1月に終了したりポPGE1のロイヤリティなどの売上は194百万円で、レチノール化粧品販売10億円達成ロイヤリティは次期に繰越。
- 中国合弁会社から配当金が増加したため、営業外収益が前期比増加。
- 売上原価及び販売費は251百万円増加。

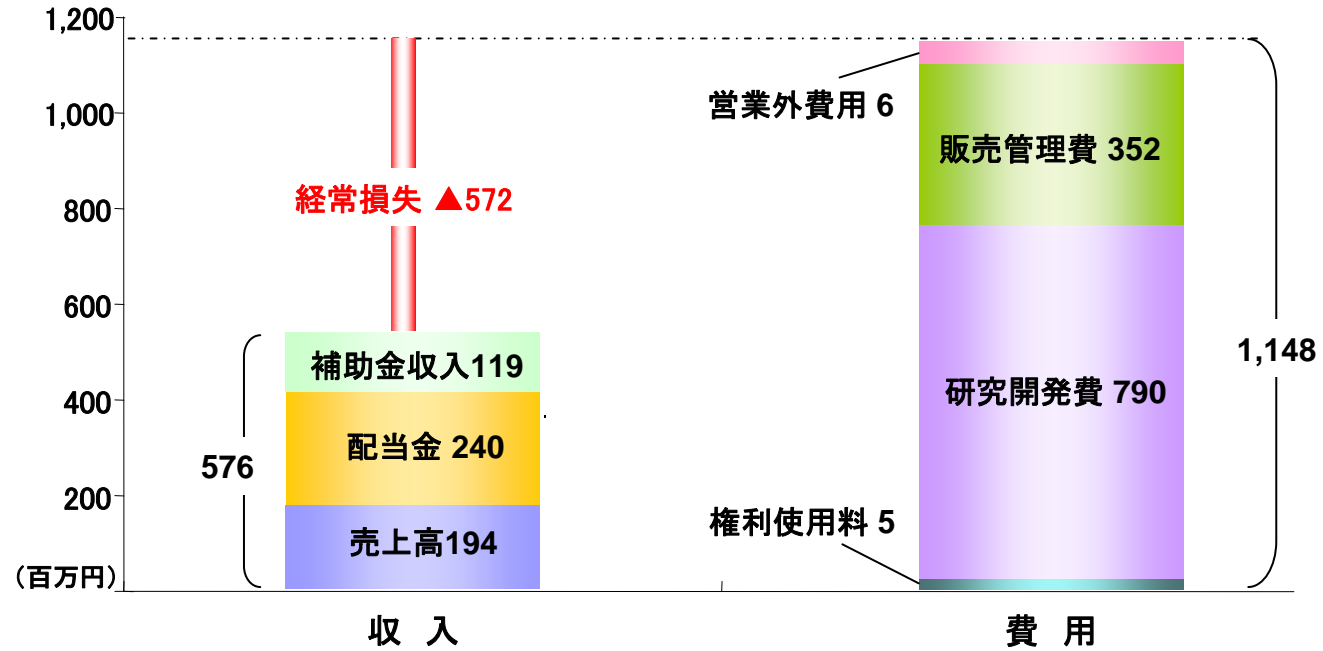
連結					
	06/3期 実績	07/3期 計画	07/3期実績		
	金額	金額	金額	前期対比 (増減額)	計画対比 (増減額)
売上高	590	1,593	1,267	677	▲ 326
営業利益	▲ 643	▲ 590	▲ 943	▲ 377	213
経常利益	▲ 287	▲ 251	▲ 553	▲ 266	▲ 15
当期純利益	▲ 298	▲ 251	▲ 583	▲ 285	▲ 332
研究開発費	565	816	790	205	▲ 26

連結コメント

- 調剤薬局を営業する子会社(株式会社ソーレ)の売上は1074百万円で通期に寄与。
- 持分法による投資利益が25百万円減少。
- PC-SODの導出による契約一時金(300百万円)が次期にずれ込み。

1-(2) 収益構造 (連結)

個別



子会社

株式会社ソーレ

(百万円)

	07年3月期
売上高	1,074
経常利益	21

※ 2007年3月期は通期で計上

持分法適用会社

(百万円)

北京泰徳製薬有限公司	
持分法による投資利益(営業外収益)	232
(株) I&L Anti-Aging Management	
	1

1-(3) 貸借対照表(主要)

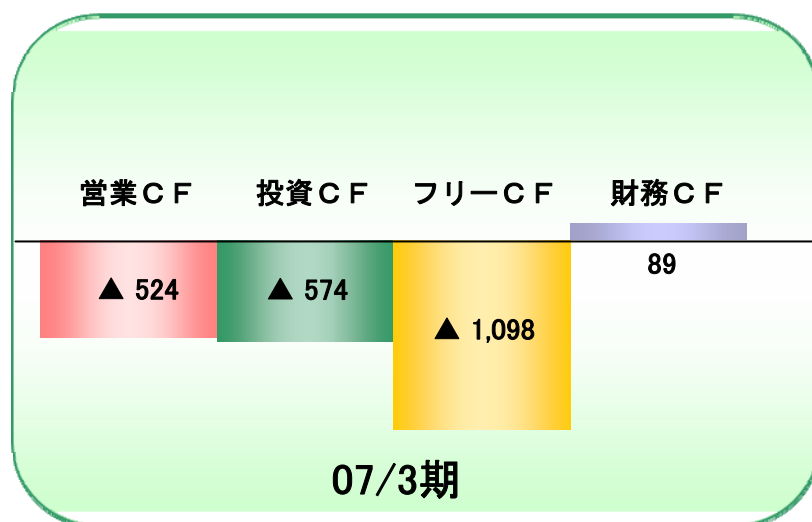
単位:百万円

	06/3末(連結)	07/3末(連結)	コメント
現金及び預金	3,032	2,022	
売掛金	178	180	調剤薬局の売掛金他
流動資産合計	3,354	2,513	
有形固定資産	18	6	
無形固定資産	135	386	営業権94百万円、旭硝子PC-SOD特許290百万円
投資その他の資産	851	1,307	運用445百万円、旭硝子PC-SOD特許200百万円
固定資産合計	1,005	1,700	
資産合計	4,360	4,214	
買掛金	165	157	
未払金	0	153	旭硝子PC-SOD特許105百万円
短期借入金	0	0	
流動負債合計	303	419	
社債	600	0	転換社債の株式交換完了
固定負債合計	654	260	
負債合計	958	679	
資本合計	3,402	3,534	資本金1,852百万円
負債・資本合計	4,360	4,214	

1-(4) 07年3月期決算キャッシュフロー(連結)

(百万円)

	06/3期	07/3期	増減額
営業活動によるキャッシュフロー	▲ 259	▲ 524	▲ 265
投資活動によるキャッシュフロー	▲ 385	▲ 574	▲ 189
財務活動によるキャッシュフロー	1,678	89	▲ 1,589
フリーキャッシュフロー	▲ 644	▲ 1,098	▲ 454



営業活動によるCF: 税引前当期純利益 ▲ 581百万円

投資活動によるCF: 関係会社貸付による支出 ▲ 150百万円、

運用 ▲ 221百万円

財務活動によるCF: 株式発行による収入 89百万円

2-(1) 08年3月期決算予想について

(百万円)

	07/3期実績(連結)	08/3期計画(連結)	07/3期実績(個別)	08/3期計画(個別)
売上高	1,267	1,331	194	251
経常利益	▲ 553	▲ 618	▲ 572	▲ 643
当期純利益	▲ 583	▲ 628	▲ 617	▲ 644
研究開発費	790	907	790	907

収益について

ナレチノイドによる売上とともに、PC-SODのマイルストーン(200百万円)による増収を見込む。配当237百万円、補助金119百万円を見込む。

費用について

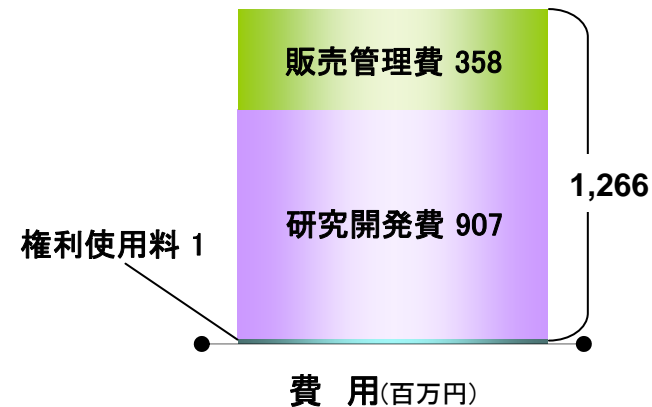
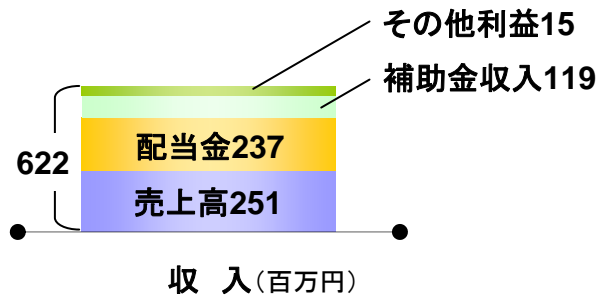
PC-SODの開発費の増加を始め、研究開発プロジェクトの活性化のため研究開発費で907百万円、販売管理費で358百万円を見込む。

連結子会社について

株式会社ソーレ売上1,079百万円、損益(22百万円)が寄与。

2-(2) 08年3月期決算収入と費用構造(経常損益)

個別



子会社

	08/3期(計画)	対売上比率
売上高	1,079百万円	100%
経常利益	22百万円	2.1%

株式会社ソーレ

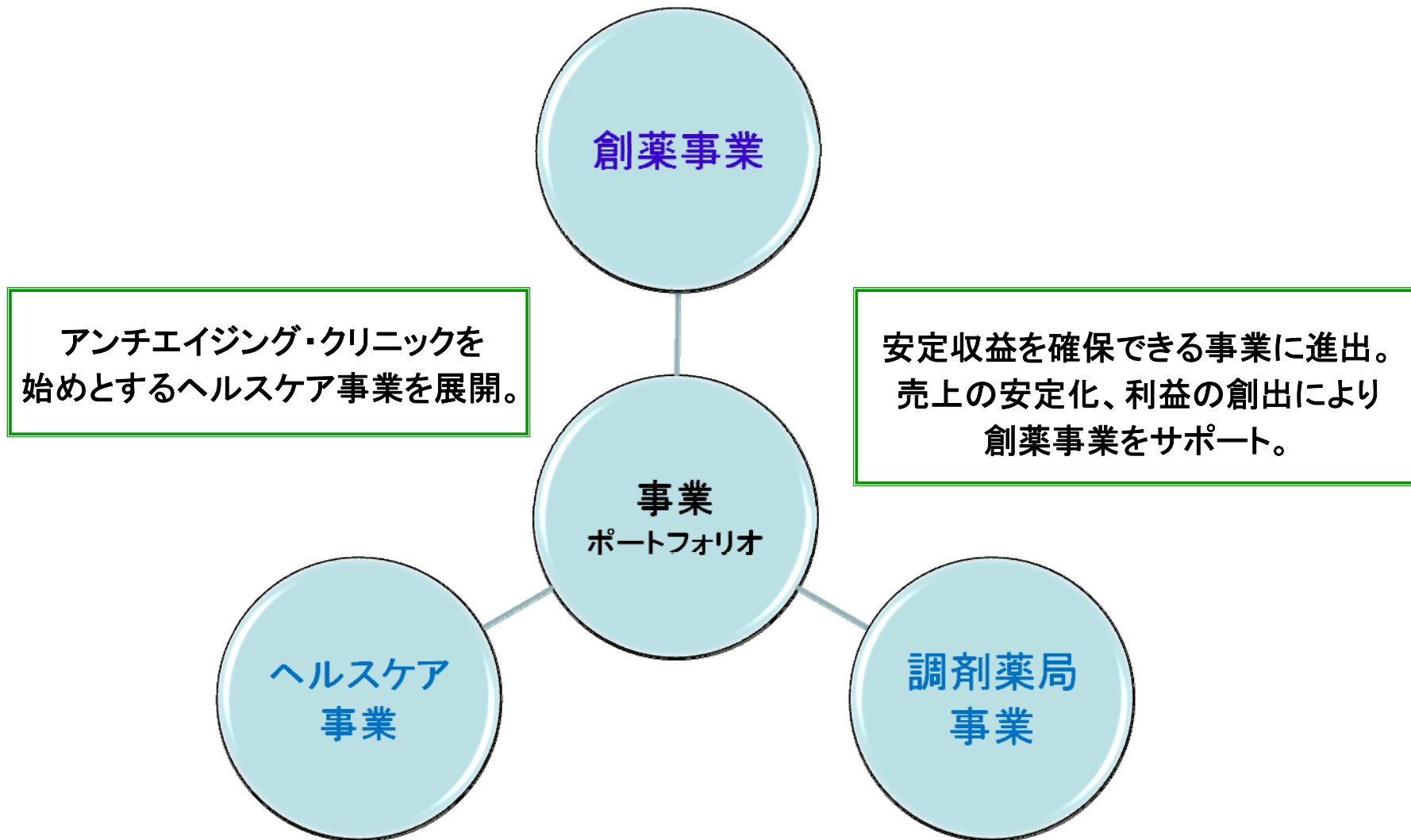
持分法適用会社

持分法による投資利益(営業外収益)
240百万円の計上を見込む

北京泰徳製薬有限公司
240百万円

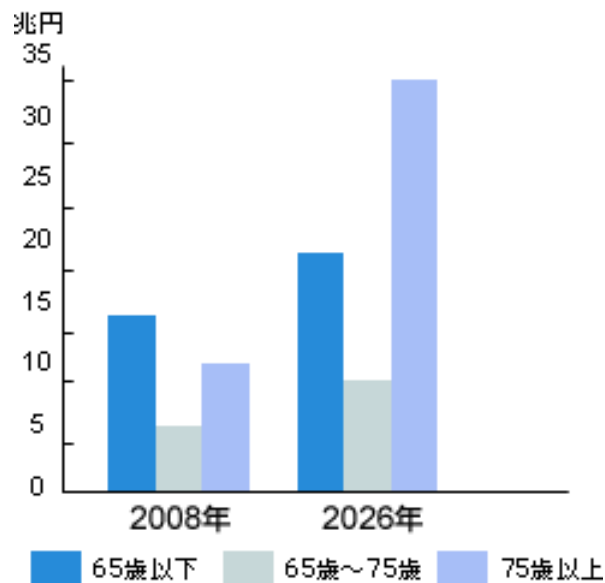
(株) I&L Anti-Aging Management
0百万円

3 経営の安定化～2つの新規事業



3-(1) アンチエイジング・クリニックモール

医療保険医療費(推計)



出所) 日本抗加齢医学会HP

2006年2月 合併会社設立
 2006年7月 開業
 秋葉原:UDXクリニック

医療保険の増大

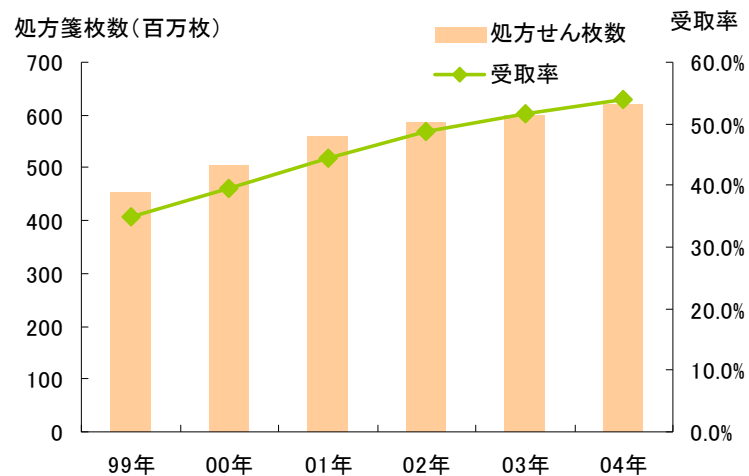
少子高齢化により、公的医療保険負担が限界に近づいている現代において、高齢者の多くが健康であればその負担は現状の3分の2程度に抑えられるかもしれない。

法人健康診断を順調に受託

2007年3月期業績

名称	秋葉原UDXクリニック
所在地	東京都千代田区
店舗売上高	30百万円
店舗経常利益	1百万円

3-(2) 調剤薬局事業



・ 優良調剤薬局を譲受

- 安定収益事業として順調に営業
- 調剤報酬・薬価改定及びジェネリック医薬品の参照価格制などへの対応と薬剤師確保が課題



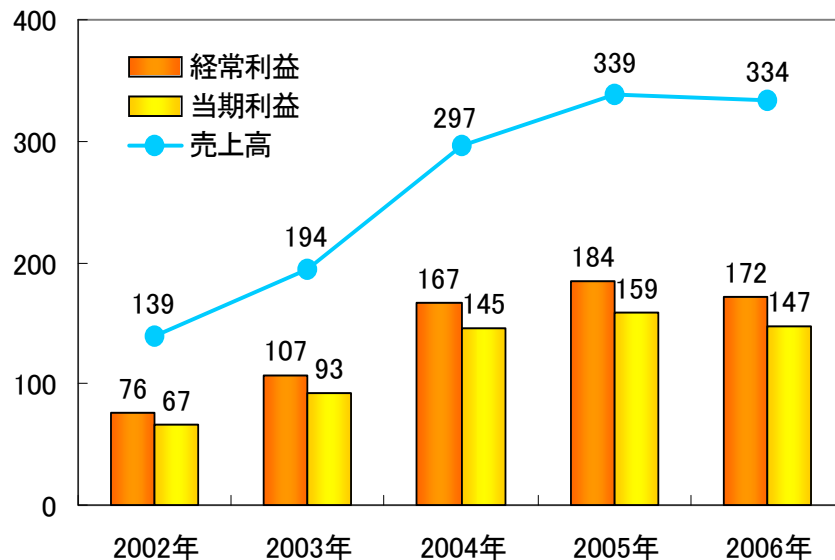
名称	太陽薬局
所在地	川崎市多摩区
店舗売上高	1,074百万円
店舗経常利益	21百万円
償却費	33百万円(総額)

2005年10月に調剤薬局を運営する子会社を設立(株式会社ソーレ)

3-(3) 北京泰德製薬有限公司

北京泰德製薬有限公司はリポPGE1製剤を中国全土の患者に届けるとともに、屈指の売り上げを続けております。その利益から株式持分相当額の高い配当金を得ています。

同社のパイプラインは2品目として2006年発売を開始した非ステロイドリポ製剤のほか、2007年上期にはPGI2錠剤の承認が見込まれ、さらにハップ剤の開発が昨年からはまっているので、毎年1品目を目標に開発・申請活動を継続いたします。中国政府の国策と相まって拡大はさらに顕著になるものと考えられます。



北京泰德製薬有限公司

(BEIJING TIDE PHARMACEUTICAL CO.,LTD)

1995年5月設立 資本金 65,509千人民元

- 中日有効病院と合併で設立。当社出資シェア12%の関連会社(2007年3月末現在)
- 当社は出資に見合う配当金を受領している。

中国でリポPGE1製剤を製造・販売(単品で屈指の売上)

当社開発品の同社への導出

